

# 岩内町総合戦略 進捗状況

平成28年12月

## 基本目標1 安定した雇用の創出

### 重点項目①：安定的な漁業生産及び漁業所得の向上による地域の活性化と雇用創出を図る

- ナマコ種苗生産施設整備等による生産基盤の強化
- 水産資源保護に向けた密漁監視などの対策強化

#### <ナマコ種苗生産施設整備事業>

- 資源増殖事業として、高騰が著しいナマコについては、漁獲制限などを行い資源維持・増大を図る取組を継続的に推進する。
- 漁家経営がさらに厳しさを増す中、ナマコ種苗生産施設を整備し、生産した種苗の放流による資源維持・増大及び種苗の販売による所得の増加を図る。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手  
 <企画産業課（水産担当）> <地場産業サポートセンター>

施設整備の前段として、地場産業サポートセンターにおいてナマコの種苗生産試験を行い、種苗生産技術の習得を図る。

H28予算額	381千円	H28決算見込額	200千円
--------	-------	----------	-------

KPI	H26基準数値	ナマコの水揚金額	96,927千円	(※H27:213百万円)
	H31基準数値	ナマコの水揚金額	350,000千円	
	H28数値見込	ナマコの水揚金額	92,300千円	

#### <岩宇3町村や民間との協働事業>

- 岩宇3町村は、各漁協及び水産関係機関と連携し、ナマコやウニ増養殖方法の確立や水産物の輸出などを目的とした地域活性化協議会を設立する。
- 漁協がナマコやウニの生産方法確立を行うほか、地域商社がブランド化やマーケティング、海外販路開拓などの事業や、道内大手流通業者、宿泊業者、加工業者との連携を進める。
- 金融機関のノウハウやマーケティング等各方面と連携し、海外の拠点を通じて現地法人とのビジネスマッチングの機会を創出し、企業向け輸出の拡大を図る。

#### <地域間の連携強化>

- ニセコエリアの海外観光客向けの販売体制の確立をはじめとする国内の販売強化を図る。
- 保税区(保税倉庫)を活用したナマコ輸出促進事業を検討する。
- 中国国内消費者に対して海外通販もできる仕組みづくりを検討する。

#### <蓄養によるウニの立て直し事業>

- 磯焼け漁場の身入りの悪いウニを籠で短期蓄養し、単価の高い端境期の出荷を目指す。
- 地域商社によるニセコエリアの外国人観光客向け販売先の調査を実施し、安定的に高価格で販売できる体制づくりを構築する。

## 進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手

<企画産業課（水産担当）>

### 【地方創生加速化交付金事業】・【地方創生推進交付金事業】

水産業による積丹半島地域の地域活性化を図ることを目的に平成28年5月、神恵内村、泊村、岩内町、古宇郡漁協、岩内郡漁協で構成する「積丹半島地域活性化協議会」を設立。

[平成28年度の事業]

#### ①地域商社の設立準備

ナマコやウニの新たな販路拡大を目的とした地域商社の設立に向け、委託業務3件を発注。

##### 1. 地域商社事業プランニング業務（40,000千円）（加速化交付金）

[業務内容]

- \* 協議会運営支援
- \* 市場環境分析、ニーズ・マーケティング調査
- \* ブランド化・販路拡大検討
- \* 試作品開発・PRイベント等の実施
- \* 地域商社設立支援

##### 2. ナマコ増養殖事業成果報告業務（1,000千円）（加速化交付金）

##### 3. ナマコ商品開発業務（3,000千円）（推進交付金）

#### ②ナマコ・ウニの増養殖試験・調査

2漁協が実施する稚ナマコの放流やウニの蓄養試験の事業費補助金を各町村から漁協に交付。

#### 【町の事業費内訳】

・積丹半島地域活性化協議会負担金 14,834千円

〔 加速化交付金分 13,834千円  
推進交付金交付金分 1,000千円 〕

・岩内郡漁協ナマコ等増養殖実証事業費補助金 16,500千円（加速化交付金分）

#### 【交付金財源】

・地方創生加速化交付金 30,334千円（補助率100%）

・地方創生推進交付金 500千円（補助率 50%）

H28予算額

31,334千円

H28決算見込額

31,334千円

### <水産資源保護のための密漁監視システム対策事業>

- 近年、単価の高い浅海資源(ウニ・アワビ・ナマコ等)は、潜水で容易に採捕できることから、特に単価の高いナマコに関する密漁被害が深刻化している。
- 特に大規模な密漁事案は非社会的組織により組織的に行われており、手口も悪質・巧妙化していることから、監視活動をより強化することが必要となっている。
- これまでの漁業者の自主的な監視活動では負担が大きく、更なる体制強化は困難なことから、密漁防止対策強化のため漁場監視カメラを整備し、密漁が行われる夜間を含め24時間監視を実施する。

## 進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課（水産担当）>

岩内郡漁業協同組合が事業主体となり密漁監視カメラの整備を行う。  
町は整備事業費を補助。（北海道の地域づくり総合交付金を活用）  
現在、漁協により設置箇所の選定作業を進めており、選定次第、機器設置に着手し、平成28年度末までに運転開始を予定。

H28予算額	19,905千円	H28決算見込額	19,905千円
--------	----------	----------	----------

KPI	H26基準数値	被害予想金額 約50,000千円
	H31基準数値	被害予想金額 約25,000千円
	H28数値見込	被害予想金額 約50,000千円

## 重点項目②:岩内海洋深層水の利活用促進を図る

### ●岩内海洋深層水の利活用による特産品などの多面的開発

#### <特産品等を活用した新商品開発支援事業>

- 特産品である「身欠きニシン」、「深層水」、「前浜の原料魚」などを活用し、付加価値の高い商品づくりを支援する。
- 地元企業が、商品開発しやすい環境を整えるため、ソフト面では「衛生管理・商品開発セミナーの開催」「食品加工の技術支援」など、ハード面では「貸出用加工機器の整備」などを実施する。
- 近年、近隣町村の若手農家との交流もあり、深層水と農産品を使用した商品（レトルトウキビなど）の試作なども推進する。

## 進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手 <地場産業サポートセンター>

- 特産品を活用した商品づくり支援
  - \*身欠きニシン～地元水産加工業者より、身欠きニシンの新商品として、カレーの開発要望があり、サポートセンターでレトルト品を試作。
  - \*深層水～日常生活で水を頻繁に使用する「風呂」をテーマとして、深層水ペットボトルを一般希望者に提供し、入浴時の体感の声を集めるモニター試験を実施。
  - \*前浜の魚～漁師から利用価値の低い大型のコウナゴの提供を受け、サポートセンターでレトルト加工品を試作。
- 商品開発環境の整備
  - ～いわない食品工業研究会主催により、「衛生管理セミナー」（5回予定）、「商品開発セミナー」（3回予定）を地場産業サポートセンターで開催。
- 深層水と農産品を使用した商品の試作
  - \*塩トマト～ニセコ農家1戸で塩トマト加熱加工品を開発
  - \*とうきび～サポートセンターで加熱加工品を試作。

H28予算額	750千円	H28決算見込額	750千円
--------	-------	----------	-------

KPI	H26基準数値	商品開発 3件、商品化 0件
	H31基準数値	商品開発 15件、商品化 5件 (H27～H31累計)
	H28数値見込	—

#### <深層水の一般家庭流通環境整備事業>

- 常温保存可能なペットボトルの試作を実施する。
- 将来的に、民間企業での製造・販売に移行できるよう試作したペットボトルについては、安全性の確認や価格の検証、「試供による需要の掘り起こし」なども実施する。
- これにより、一般家庭での深層水利用拡大とペットボトル製造業者の創出を狙う。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成27年度より着手		＜地場産業サポートセンター＞	
<p>常温保存でき、容易に運搬可能な2Lの脱塩水ペットボトルを試作し、飲食店や食品企業などに試供品として提供。</p> <p>試供により深層水の定期利用に繋がった飲食店があるほか、札幌圏の美容室への販売に向けて検討を始めた企業もでてきた。</p>			
H28予算額	151千円	H28決算見込額	151千円

KPI	H26基準数値	一般家庭利用料 400千円(※小口分水の売上げ)
	H31基準数値	一般家庭利用料 820千円 (※小口分水、及びペットボトル製造のための水の使用料)
	H28数値見込	一般家庭利用料 500千円

#### <深層水の効果検証事業>

- 深層水の効果を立証することにより、既存利用企業の商品価値の向上及び新規利用企業の拡大を図る。
- 既存利用者からのヒアリングを基に、酪農業、農業、化粧品等の分野での試験を実施する。
- 専門機関等の分析により、深層水の優位性を検証し、製造量の規模によっては、化粧品の分野などの工場誘致も期待できる。

<b>進捗状況</b>	
[着手状況] 平成27年度より着手	＜地場産業サポートセンター＞
<p>* 酪農 ～酪農学園大学で分娩牛に対して深層水の飲用効果を検証中。</p> <p>* 農業 ～塩トマトの機能成分の分析が終了。結果を基に次年度の利用方法を後志農業改良普及センターと協議中。(深層水利用農家2戸(H27) →7戸に増加)</p> <p>* 畜産 ～畜肉は実証試験の検査項目を分析機関と協議中。</p>	

*化粧品 ～美容効果の測定については、民間企業と内容を協議中。			
H28予算額	2,147千円	H28決算見込額	2,143千円

KPI	H26基準数値	利用数	酪農	1軒、農業	3軒、化粧品	2軒
	H31基準数値	利用数	酪農	20軒、農業	15軒、化粧品	5軒
	H28数値見込	利用数	酪農	1軒、農業	12軒、化粧品	4軒

#### <深層水の試験利用事業>

- 企業等が深層水の利用に至るまでには、効果を実感できる一定の使用期間が必要だが、運搬体制の整備により、ある程度の利用拡大が可能となっている。
- 利用拡大により町内の飲食店や商品の付加価値の向上が図られるなど、近隣町村を含め経済波及効果に期待できる。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成27年度より着手		<地場産業サポートセンター>	
-----			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運搬車両の借上や非常勤職員の雇用等により、深層水運搬体制の整備を行う。</li> <li>・利用拡大のための深層水の認知拡大を目的に深層水まつりを開催。</li> </ul>			
H28予算額	2,611千円	H28決算見込額	2,326千円

KPI	H26基準数値	利用登録企業数	176社
	H31基準数値	利用登録企業数	276社
	H28数値見込	利用登録企業数	219社

#### <施設機能拡大の検証及び強化事業>

- 町営の試験研究施設「地場産業サポートセンター」は、「深層水の販売」、「新商品の開発支援」、「食品の安全確認検査」など多機能を有する施設となっている。
- 立地環境としては、工業団地内にあること、電源立地周辺地域であることから食品製造業を中心としたものづくり企業の支援・誘致が可能である。
- 地元の子どもたちや観光客の体験施設としての要望もある。
- 施設の有する「ヒト・モノ・カネ」を活用し、最大限に地域貢献できる方法を見いだすため、専門家による事業評価・経営手法を取り入れるなどして、検証・実践する。

<b>進捗状況</b>	
[着手状況] 平成27年度より着手	<地場産業サポートセンター>
-----	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場の動向に精通する専門家の指導を受けながら、消費者視点に立った深層水販売戦略を作成。(平成28年度より着手)</li> <li>・深層水の価値が理解され利用が拡大することを目的に、専門家のネットワークを活かし、札幌圏の消費者からの情報収集やSNSによる情報発信を実施。(平成28年度より着手)</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業サポートセンターを地場産業のPR施設としての活用するため、地元の小学生や修学旅行生を受け入れ。(平成27年度より着手)</li> <li>・小学生： <ul style="list-style-type: none"> <li>[総合学習授業] 西小学校3年生 35名 (6/22)、東小学校3年生 56名 (11/24)</li> <li>[岩宇子ども交流プログラム (岩宇まちづくり連携協議会事業)] 岩宇地域小学生 32名 (9/17)</li> <li>内容～①深層水説明 ②施設見学 ③試食体験 ④生き物観賞</li> </ul> </li> <li>・修学旅行生：京都府立海洋高等学校2年生 19名 (9/28)</li> <li>内容～①身欠きニシンのレトルトカレー試作 ②なまこの養殖、深層水説明</li> </ul>			
H28予算額	1,150千円	H28決算見込額	1,141千円

KPI	H26基準数値	地場産業サポートセンターの経常利益 ▲15,000千円
	H31基準数値	地場産業サポートセンターの経常利益 0千円
	H28数値見込	—

**重点項目③：岩宇地域4町村広域での若年労働者の就労支援、定着促進を図る**

**●研修や資格取得などによる若者労働者の就労支援**

- 岩宇地域は同一経済圏であることから、若年層等が就業できる事業所が多い岩内町で若年者や子育てで離職している女性を対象に、就労に向けた基礎研修や経済団体・就労支援機関と連携し、職場研修などを実施する。
- 受講者のために資格取得を幅広く実施し、若年層等の就労の定着を促進する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成27年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)>			
<p>地方創生加速化交付金が不採択となったことから、平成27年度に地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)の活用により実施した若者労働者就労支援事業は未実施となった。</p> <p>今後は、財源確保を検討しながら、実施を検討していく。</p>			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	—
	H31基準数値	研修受講者の就職数 6人
	H28数値見込	—

**重点項目④: 地域資源を活用した特産品の開発支援体制を整備し、特産品の開発と地域の雇用を促進する**

**●特産品開発支援体制の充実**

＜地域資源の活用による安定した人材確保と雇用創出に向けた戦略＞

- 身欠きニシンを活用した商品開発及びブランド化(加熱加工品、調味加工品、調味料等)を図る。
- 身欠きニシンを活用したご当地グルメの開発(地元でしか食べられない、買えない商品づくり、地元飲食店とのタイアップ)を行う。
- ふるさと納税(返礼品)とタイアップした新たなマーケットを開拓(商品開発及び商品PR)する。
- 日本海ニシン稚魚放流事業を展開する。
- 地域イベントにおけるニシン文化、ニシン商品のPRを行う。

進捗状況			
[着手状況] 平成25年度より着手		＜地場産業サポートセンター＞	
<p>○身欠きニシンを活用した商品開発・ブランド化                      身欠きニシンを使ったニシン親子丼を試食会等で紹介し、意見交換を実施。                      (事業費は重点項目②の深層水新商品開発支援事業に含む)</p>			
H28予算額	-	H28決算見込額	-
[着手状況] 平成28年度より着手		＜総務財政課(総務担当)＞	
<p>○ふるさと納税とタイアップした新マーケット開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度6月より返礼品付きふるさと納税をスタート。                      (H28.12月末時点 寄附件数 3,273件、寄付金額 40,532千円)</li> <li>・そのうち約4割の16,000千円が地元特産返礼品として町内で消費され、全国の寄附者へ送付されている。</li> <li>・登録事業者及び登録返礼品数については、                      16事業者 33商品(スタート当初) → 20事業者 55商品(H28.12末)へ拡大している。</li> <li>・体験型プログラムのモデル商品として、宿泊型キャットツアーを返礼品として登録し、滞在型商品の可能性を探る。</li> <li>・既存商品の新規マーケット開拓                     <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         既存特産品、特に数の子については、地域内消費の限界を感じていたが、ふるさと納税を通じた正月用のプロモーションを実施した結果、予想以上の反響があり、11月だけで900件以上の寄附を集めている。                          これはこれまで皆無であったマーケットであり、事業者からも次年度に向けた生産量の増加や、プロモーションの強化が提案されている。                     </div> </li> </ul>			
H28予算額	26,099千円	H28決算見込額	26,099千円

[着手状況] 平成20年度より着手		<企画産業課（水産担当）>	
<p>○ニシン稚魚放流事業</p> <p>ニシン資源の増大を目的に平成20年度から実施しているニシン稚魚の放流事業を引き続き実施。</p> <p>事業内容は、ニシン親魚の確保、採卵、育成（委託買取）、稚魚放流、追跡調査など。</p> <p>実施主体は、岩内町が事務局を務め、南後志の町村・漁協で構成する「後志南部地域ニシン資源対策協議会」。</p>			
H28予算額	1,316千円	H28決算見込額	1,316千円
[着手状況] 平成23年度より着手		<企画産業課（商工労働観光担当）> <地場産業サポートセンター>	
<p>○地域イベントにおけるニシン商品PR</p> <p>怒涛まつりのブースにおいて、串焼きやニシンサンドを販売・PRし、地元事業者による商品化を推進。</p> <p>〔 事業費は怒涛まつり実行委員会の予算 町より実行委員会へ事業費補助あり 〕</p>			
H28予算額	230千円	H28決算見込額	230千円

KPI	H26基準数値	水産加工品 30品目
	H31基準数値	水産加工品 40品目（新規商品開発 10品目）
	H28数値見込	—

## 基本目標2 新しい人の流れをつくる

### 重点項目①: 観光や移住促進に向けた連携体制の強化を図る

#### ●豊かな自然を活かした観光や移住促進に向けた連携体制強化

- ニセコエリアをターゲットとした日本海の海の幸「食」を軸とした広域観光を推進(食のブランド化、ふるさと納税の推進)する。
- キャットツアー、登山、シーカヤック等「アクティビティ」を軸とした広域アウトドア型観光を推進する。
- 地域住民の余暇を活かしたボランティアガイドスタッフ制度の基盤を整備(ワーク・ライフ・バランスの推進、地域マンパワーの活用)する。
- ふるさと納税(返礼品)とタイアップした新たなマーケットを開拓(滞在型商品の開発とPR)する。
- 地域資源のブラッシュアップや滞在時間の延長、通年アクティビティの開発、観光に特化した人材育成、周辺エリアからの誘導などの課題がある。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)>

#### ○「食」の広域観光推進 [1]

平成28年5月、地域住民に必要な生活機能の確保と地域活性化を図るために連携した取り組みを推進することを目的に、岩宇4ヶ町村で設立した「岩宇まちづくり連携協議会」により、地場産品を活用した食のブランド化を推進する事業を実施。

##### ①地場産品物販イベントの開催

～平成29年2月に札幌市地下歩行空間で開催予定。

##### ②グルメコンテストの開催

～ご当地グルメの開発に向けたアイデアを募集。(平成28年12月募集開始)

##### ③食べ歩き&買い物マップの作成

～岩宇4ヶ町村内の食べ処や買い物処のマップを作成し、札幌圏等で配布。

#### 【町の事業費】

- ・岩宇まちづくり連携協議会負担金 5,000千円

※協議会負担金は、平成28年度負担金の総額であり、他事業分も含む。

以下、協議会事業は同様

#### 【交付金財源】

- ・地域づくり総合交付金 5,000千円(補助率100%)

H28予算額

※5,000千円

H28決算見込額

※5,000千円

<p>[着手状況] 平成25年度より着手 &lt;企画産業課（商工労働観光担当）&gt;</p> <hr/> <p>○「食」の広域観光推進 [2]</p> <p>経済産業省の支援を受け、平成25年度から岩宇4町村が連携して実施している「地域のじまんづくりプロジェクト」により、ニセコエリアのホテルやレストランを中心に、岩宇の食材などのPRを実施。</p>			
H28予算額	0千円	H28決算見込額	0千円
<p>[着手状況] 平成19年度より着手ほか &lt;企画産業課（商工労働観光担当）&gt;</p> <hr/> <p>○キャットツアー等広域アウトドア型観光の推進</p> <p>*ニセコいわない国際スキー場でのキャットツアーの実施 (平成19年より岩内町地域振興協会が実施)</p> <p>*グランピング体験イベントの開催 [岩宇まちづくり連携協議会による事業] ～H28.7月にいわないオートキャンプ場マリレビューにおいて、豪華なキャンプ「グランピング」の体験イベントを開催し、地場食材を使った料理の試食会も実施。(平成28年度より着手)</p>			
H28予算額	※5,000千円	H28決算見込額	※5,000千円
<p>[着手状況] 平成27年度より着手 &lt;企画産業課（商工労働観光担当）&gt;</p> <hr/> <p>○ボランティアガイドスタッフ制度の基盤整備</p> <p>観光ボランティアガイドの育成として、観光協会が任命した観光マイスターによる観光案内を実施。</p>			
H28予算額	0千円	H28決算見込額	0千円
<p>[着手状況] 平成28年度より着手 &lt;総務財政課（総務担当）&gt;</p> <hr/> <p>○ふるさと納税とタイアップした新マーケット開拓</p> <p>基本目標1 &lt;地域資源の活用による安定した人材確保と雇用創出に向けた戦略&gt;の進捗状況のとおり</p>			
H28予算額	26,099千円	H28決算見込額	26,099千円
<p>[着手状況] 着手時期未定 &lt;企画産業課（商工労働観光担当）&gt;</p> <hr/> <p>○通年アクティビティ開発・観光人材育成</p> <p>[実施予定の内容]</p> <p>民間企業によるリゾート開発計画を誘致し、通年によるアクティビティ開発や観光分野における人材育成を支援する。</p>			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	観光入込数 451,500人
	H31基準数値	観光入込数 500,000人
	H28数値見込	観光入込数 430,000人

## 重点項目②: 観光・交流人口の拡大・促進を図る

### ●観光・交流人口拡大に向けた様々な取り組みの展開

#### <国内観光客の地域体験観光ルート開発>

- 北海道新幹線の開業や北海道横断自動車道(共和・余市間)の早期開通により、今後の地域間交流の活性化が期待できる。
- 観光客の岩宇地域への誘致を図り、岩宇4町村とそれぞれが有する独自の歴史文化や暮らしを体験し、地域の魅力を感じてもらうことで観光振興を図る。
- そのための受け皿となる広域的な組織を町民と連携し育成する。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)>

平成28年9月に京都の高等学校が修学旅行で岩宇地域に滞在。岩宇4町村の「地域のじまんづくりプロジェクト」のメンバーが、地域内の水産加工場や養殖施設、牧場での体験実習などのメニューにより受け入れた。

H28予算額

0千円

H28決算見込額

0千円

KPI	H26基準数値	年間宿泊人数	113,800人
	H31基準数値	年間宿泊人数	125,000人
	H28数値見込	年間宿泊人数	103,600人

#### <道の駅機能強化事業>

- 道の駅の活性化を図って観光振興につなげるため、先進事例の調査や観光情報などの発信、深層水といった特産品等の活用を再検討する。
- 道の駅とその周辺地域の再整備や、各観光施設や商店街などと連動した取り組みについても地域住民や民間団体等と協働する。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)>

道の駅再整備の方針検討を目的に、平成28年5月に観光協会や商工会議所、金融機関、行政機関などで構成する「岩内町道の駅検討会」を設置。

平成28年6月に観光協会が『岩内町「道の駅」魅力アップセミナー』を開催し、検討会のメンバー等が参加して、専門家からの講話や現地指導などを受けた。

H28予算額

0千円

H28決算見込額

0千円

KPI	H26基準数値	道の駅年間訪問者数	85,000人
	H31基準数値	道の駅年間訪問者数	120,000人
	H28数値見込	道の駅年間訪問者数	97,500人

### <観光振興と連動した商店街の活性化>

○各種の観光振興策を推進することで、中心市街地に賑わいを創出し、商店街の活性化を図る。また、空き店舗活用支援事業費補助金を新たに創設し、空き店舗を活用して起業する事業者を支援する。

進捗状況			
[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課（商工労働観光担当）>			
商店街の空き店舗を活用して事業を始める場合に店舗の家賃や改修・整備費の一部を補助する「空き店舗活用支援事業補助金」を平成28年4月に創設。空き店舗を活用して起業する事業者への支援をスタートした。			
H28予算額	3,200千円	H28決算見込額	0千円

KPI	H26基準数値	空き店舗解消数	—
	H31基準数値	空き店舗解消数	5件
	H28数値見込	空き店舗解消数	0件

### <外国人観光客の岩宇地域周遊コース開発>

○ニセコ、倶知安方面に長期滞在している外国人観光客等に対して、日本の地方文化や暮らしを体験し、地域の魅力を感じてもらおうための受け皿となる広域的な組織を町民と連携し育成する。

進捗状況			
[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課（商工労働観光担当）>			
*外国人モニターツアーの実施 [岩宇まちづくり連携協議会による事業] ～ニセコ圏に滞在する外国人などを対象とし、岩宇地域を巡るモニターツアーを季節を変えて3回実施。 ①岩内神社例大祭ツアー（平成28年7月実施） ②神仙沼（共和）、鯉御殿（泊）、温泉998（神恵内）などのツアー（平成28年10月実施） ③冬期ツアーを予定			
H28予算額	※5,000千円	H28決算見込額	※5,000千円

### <外国人観光客への岩宇の物産と地域のPR>

○台湾観光客へ岩宇の物産と地域PRを行うため、台湾に雪を運び込み、雪国のイメージをPRする。

- ・地域の場所、交通アクセス、もてなしのツアー
- ・冬のイメージ:スキー場、吹雪、荒れた日本海
- ・夏のイメージ:穏やかな日本海、海に沈む夕日、釣り、漁船
- ・岩宇ヒストリー(岩宇地域の歴史的成り立ち、茅沼炭鉱、岩内場所)の紹介など

○岩宇地域の物産品の展示、試食、即売会を行うことで、地域の魅力をPRし、台湾からのインバウンド観光を促進する。

○外国人観光客の受入体制を強化する。

- ・外国人受入講座の開催
- ・Wi-Fiや外国語観光案内板の整備
- ・クレジットカード決済の推進

進捗状況			
[着手状況] 平成25年度より着手ほか <企画産業課（商工労働観光担当）>			
-----			
前述の岩宇まちづくり連携協議会による外国人のモニターツアーや「地域のじまんづくりプロジェクト」によるニセコエリアでの食材PRのとおり。			
H28予算額	※5,000千円	H28決算見込額	※5,000千円

KPI	H26基準数値	年間外国人宿泊人数	60人
	H31基準数値	年間外国人宿泊人数	100人
	H28数値見込	—	

#### <国際化教育推進事業>

○後志管内ではニセコなどを中心にスキーリゾートとして世界的に高い評価を得ており、長期滞在する外国人観光客等が増加している。リゾート関連企業や観光産業において、地元の地理や風土に精通し語学力のある人材が多く求められていることから、北海道や管内市町村との連携を図りながら、グローバルな人材育成を進めるため、外国人のALTを配置し、国際化教育を推進する。

進捗状況			
[着手状況] 平成28年度より着手 <教育課（学校教育担当）>			
-----			
<b>【地方創生加速化交付金事業】</b>			
* ALT（外国語指導助手）講師による英語授業の実施 ～町内の中学校全学年と小学校5、6年生を対象にグローバルな人材育成を進めるため、外国人のALT講師を派遣し、国際化教育の推進を図る。			
* グローバルサポーター派遣事業 ～後志総合振興局では、管内市町村と連携し、管内で活躍する国際経験豊富な人材を派遣する「グローバルサポーター派遣事業」をスタート。 地域住民が主催する国際交流等の行事にグローバルサポーターを派遣する。 当町のALT講師が本事業に参加し、サポーター名簿に登録。			
H28予算額	4,200千円	H28決算見込額	4,200千円

KPI	H26基準数値	英語検定合格者3級以上	6人
	H31基準数値	英語検定合格者3級以上	15人
	H28数値見込	—	

**重点項目③: 交流の場の創生による「ひとづくり」の促進を図る**

- 魅力あるまちづくりの基盤となる「ひとづくり」の促進
- 将来の人口減少を踏まえた地域間交流の促進

- 町内異業種交流研修を実施(魅力あるまちづくりの基盤のとなる官民協働によるひとづくりの促進)する。
- 政策及び合意形成能力開発研修への助成事業(官民協働による人材能力研鑽に対する助成事業)を行う。
- 地域間交流先進地事例研修を実施(官民協働による先進地視察研修)する。
- UIJターン人材の連携支援及び職種マッチング(企業後継者や移住者の連携)を行う。
- 広報広聴技術研修を実施(効果的情報発信及び情報収集のスキルアップ研修)する。
- 町民まちづくりワークショップ研修を開催(地域活動団体との連携、たら丸塾の開催)する。
- SNSを活用した情報共有コンテンツを提供(地域間交流、情報発信の推進)する。

進捗状況			
<p>[着手状況] 平成27年度より着手 <span style="float: right;">&lt;総務財政課(総務担当)&gt;</span></p> <hr/> <p>○町内異業種交流研修の実施</p> <p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の中堅・若手職員と町内の民間企業社員を対象に、共通のテーマを設定し、研究・討議を行うことにより、異なる組織意識や多様な価値観に触れ、視野の拡大や参加者相互の交流・理解を深める。</li> <li>・岩内町総合戦略に盛り込まれた各施策の効果的展開に向けた提言を行うなど、参加者の「まちづくり」に対する意識を助長する。</li> </ul> <p>[参加人数] 22名 (民間企業等 13名 町職員 9名)</p> <p>[実施回数] 年3回 <span style="font-size: 2em;">}</span> <span style="font-size: 2em;">[</span> 8/26、10/27実施済 3回目は1月下旬から2月中旬に開催予定</p>			
H28予算額	330千円	H28決算見込額	330千円
<p>[着手状況] 平成26年度より着手 <span style="float: right;">&lt;総務財政課(総務担当)&gt;</span></p> <hr/> <p>○政策・合意形成能力開発研修助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係長職を対象とした政策・企画能力の向上の研修を外部講師に委託。</li> <li>・北海道市町村研修センターが主催する政策及び能力開発研修に参加。</li> </ul>			
H28予算額	138千円	H28決算見込額	138千円
<p>[着手状況] 平成27年度より着手 <span style="float: right;">&lt;総務財政課(総務担当)&gt;</span></p> <hr/> <p>○地域間交流先進地事例研修の実施</p> <p>公益財団法人北海道市町村振興協会が主催する先進事例研修に参加予定。</p> <p>→ 今年度不参加</p>			
H28予算額	59千円	H28決算見込額	0千円

[着手状況] 平成30年度より着手予定		<企画産業課(企画担当)>	
<p>○U I Jターン人材連携支援事業</p> <p>[平成30年度実施予定の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度に整備予定のワンストップ窓口を通じて、新規の移住者へのサポート体制を確保するほか、既に町内に居住している移住者の名簿を整理することにより、移住後の生活全般の相談窓口としての機能を整備する。</li> <li>・ワンストップ窓口の機能強化として、町内企業や職を仲介するなど、仕事の面でのサポートを行っていく。</li> <li>・着手時期については、ワンストップ窓口が軌道に乗り、町内の移住者情報が整理された後となるため、平成30年度を予定。</li> </ul>			
H28予算額	—	H28決算見込額	—
[着手状況] 平成26年度より着手		<総務財政課(広報担当)>	
<p>○広報広聴技術研修の実施</p> <p>専門家による講義や実技指導を通じて、担当者の技術向上を図るため、「平成28年度広報広聴技術研究会」に参加。</p> <p>[研修参加人数] 1名</p>			
H28予算額	27千円	H28決算見込額	27千円
[着手状況] 平成28年度より着手		<総務財政課(総務担当)>	
<p>○町民まちづくりワークショップ研修の開催</p> <p>*岩宇まちづくり連携協議会によるワークショップの開催</p> <p>～岩宇4ヶ町村の官民メンバー18名によるワークショップを開催。</p> <p>旅行会社をコーディネーターに迎え、先進事例を学ぶと共に、岩宇4ヶ町村の特色ある地域資源を掘り起こし、相互の体験モニタリングツアーを計画して、次年度以降の人材育成に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年10月21日 第1回検討会議開催 5名参加</li> <li>・ " 11月16日 地域ヒアリング会議開催 5名参加</li> </ul> <p>*地域のじまんづくりプロジェクトと連動したワークショップへの参加</p> <p>～地域のじまんづくりプロジェクトによる地域の特産品を活用した料理、地域の特色ある人材を繋げる事を目的としたワークショップGAN-WU Caféへの参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年 9月16日 プレ岩宇カフェ開催 3名参加</li> <li>・ " 11月25日 第1回岩宇カフェ開催 4名参加</li> </ul>			
H28予算額	※5,000千円	H28決算見込額	※5,000千円
[着手状況] 着手時期未定		<総務財政課(広報担当)>	
<p>○SNS活用情報共有コンテンツの提供</p> <p>具体的検討なし</p>			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	研修参加人数(官民協働)	20名
	H31基準数値	研修参加人数(官民協働)	50名
	H28数値見込	研修参加人数(官民協働)	22名

#### 重点項目④:若者や移住者向けの住環境等の充実を図る

- 若者・移住者向けの住環境の充実
- 地元企業・産業における人材確保に対する支援の強化
- 起業に対する各種支援の展開
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
- 既存施設等の有効利活用

- 就農支援による移住促進事業を展開する。
- 商店街連動型移住促進事業(空き店舗活用、起業支援策と連動した移住促進)を実施する。
- ライフスタイル応援型移住促進事業(自然・環境・子育て・趣味などライフスタイルと連動した移住促進)を実施する。
- 空き家、空き店舗、空き地などの不動産情報をデータベース化する。
- 助成制度メニューなどをデータベース化する。

進捗状況			
[着手状況]	平成26年度より着手 平成28年度より着手ほか	<企画産業課(農林担当)> <企画産業課(企画担当)>	
<p>○就農支援移住促進事業</p> <p>農林水産省の青年就農給付金を活用し、新規就農者の岩内町内での農業経営開始を支援。(農業経営の開始から5年間、1人あたり年間1,500千円を給付)</p> <p style="text-align: right;">&lt;農林担当&gt;</p> <p>農林担当が窓口となっている青年就農給付金について、町の移住定住ホームページで紹介し、就農による移住を促進する。(平成28年度より着手)</p> <p style="text-align: right;">&lt;企画担当&gt;</p> <p>[平成30年度実施予定の内容]</p> <p>・今後実施予定の移住体験「ちょっと暮らし」において、農業体験を取り入れるなど、就農による移住促進について、農業委員会と連携しながら検討を進める。</p> <p style="text-align: right;">&lt;企画担当&gt;</p>			
H28予算額	3,000千円	H28決算見込額	3,000千円
[着手状況]	平成28年度より着手	<企画産業課(商工労働観光担当)>	
<p>○商店街連動型移住促進事業</p> <p>今年度に創設した「空き店舗活用支援事業補助金」制度を町外にも広く周知し、空き店舗を活用して起業する移住者を支援する。</p>			
H28予算額	3,200千円	H28決算見込額	0千円

[着手状況] 平成29年度より着手予定		＜企画産業課（企画担当）＞	
○ライフスタイル応援型移住促進事業			
[平成29年度実施予定の内容]			
平成28年度に整備する移住定住ホームページのコンテンツを拡大し、「しごと・遊び・生活・子育て」など、ライフスタイルに合わせた情報発信を行っていく。			
また、平成29年度に整備予定のワンストップ窓口の機能強化を進め、ライフスタイル全般のサポートを行っていく。			
H28予算額	－	H28決算見込額	－
[着手状況] 平成28年度より着手ほか		＜企画産業課（企画担当）＞	
＜企画産業課（商工労働観光担当）＞		＜建設住宅課（建築担当）＞	
○空き家、空き店舗、空き地などの不動産情報のデータベース化			
[過年度の実施内容]			
・平成20年度より町内の民間賃貸住宅のうち所有者より掲載要望のあった物件について一覧を作成し、町ホームページに掲載している。			
・平成27年度に実施した空き家実態調査に基づき、空き家候補所有者（管理者）に対して利活用に係る意向調査を実施し、しりべし空き家BANKへの登録意向者に登録を斡旋。			
＜建築担当＞			
[平成28年度実施内容]			
・平成28年度に整備する移住定住ホームページ内にしりべし空き家BANKや建築担当で整理している賃貸物件情報などをリンクすることにより、「住まい」に関する情報を分かりやすくまとめて発信する。			
＜企画担当＞			
・平成28年度中に空き地BANKの開設を予定。			
＜建築担当＞			
[今後実施予定の内容]			
* 空き店舗情報			
・今年度に創設した「空き店舗活用支援事業補助金」について、活用しやすいよう周知を図るため、商店街の協力を得ながらデータベース化する。			
＜商工労働観光担当＞			
* 空き地情報			
・財政担当で検討を進めている町有地の宅地分譲に関して、分譲開始の際にホームページで情報発信し、移住定住を促進する。			
＜企画担当＞			
H28予算額	0千円	H28決算見込額	0千円
[着手状況] 平成28年度より着手		＜企画産業課（企画担当）＞	
○移住定住助成制度のデータベース化			
・平成28年度に作成する移住定住パンフレットに移住のサポートとなる支援・助成制度を掲載する。			
・平成28年度に整備する移住定住ホームページには、支援・助成制度一覧表を掲載するほか、転入から定住までの流れの中で必要となる各制度を分かりやすく紹介するなど、「見やすさ」を工夫した内容としていく。			
また、今後、新たに立ち上げる支援制度は、ホームページ上でトピックス掲載するなど目立つ工夫をし、町の支援制度の情報発信を積極的に進める。			

H28予算額	0千円	H28決算見込額	0千円
--------	-----	----------	-----

KPI	H26基準数値	転入者数	391人
	H31基準数値	転入者数	500人
	H28数値見込	—	

## 重点項目⑤:移住・定住の促進対策の強化とニーズを捉えた情報発信を行う

### ●移住・定住対策と情報発信の多面的展開

#### <移住・定住促進事業>

##### □移住窓口のワンストップ化

- 移住相談窓口強化策として、移住関連窓口の一元化を行い、問い合わせ等にスムーズに対応できる体制を整備する。
- 移住支援制度の情報整理を行い、移住希望者に町の情報がわかりやすく伝わる体制を構築する。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成29年度より着手予定 <企画産業課（企画担当）>

##### [平成29年度実施予定の内容]

平成28年度に移住定住支援制度などの情報整理を行った後、平成29年度に移住定住に関する窓口を1本化する。

その際には、移住定住促進に関わる庁内各担当と連携を図り、対応フロー図の作成等により、スムーズに対応できる窓口体制を構築する。

また、ワンストップ窓口では、転入時の相談や手続きだけではなく、転入後のアフターフォローを積極的に行い、町内の移住者名簿の作成等により、情報交換の場を確保し、移住者同士の交流や橋渡しのサポートを行う。

H28予算額	—	H28決算見込額	—
--------	---	----------	---

##### □移住・定住情報の整備

- 町の移住支援制度や公共交通・医療施設・商業施設等の生活環境、町の魅力等の情報を整理し、パンフレットやホームページ、動画等のツールを整備する。
- 「全国移住ナビ」（総務省）、「北海道移住まるごと情報サイト」（北海道）等の移住情報サイトに町の情報を掲載し、既存のWEBサイトを活用した情報発信を実施する（町のホームページとのリンクも検討）。
- 移住検討者に安心して岩内町を選んでもらえるよう、既に町に移住している先輩移住者の生の声を集約し、情報発信する。

## 進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課（企画担当）>

- \* 移住定住促進パンフレットの作成  
 ~移住定住促進パンフレットのデータ作成業務及び印刷製本業務を発注し、  
 移住定住促進パンフレットを3,000部作成する。  
 パンフレットは、首都圏や札幌市の移住情報発信施設に設置するほか、  
 町内企業への配布、町内の宿泊施設等への設置などに活用する。
- \* 移住者インタビュー動画の配信  
 ~パンフレットデータ作成業務において、移住者インタビューを動画撮影し、  
 YouTubeにより動画配信する。
- \* 移住定住ホームページ  
 ~町の移住定住専用サイトを新規開設する。  
 [ホームページ掲載内容]  
 移住パンフレットのPDFデータ、インタビュー動画、町の移住支援制度の  
 紹介、土地・賃貸物件情報の掲載、しりべし空き家BANKへのリンクなど  
 順次コンテンツを拡大していく。

H28予算額

1,038千円

H28決算見込額

1,038千円

### □移住定住に係る助成

○移住者に対する経済的支援として、引っ越し費用や家賃、住宅購入費等の助成制度を創設する。

## 進捗状況

[着手状況] 平成29年度より着手予定 <企画産業課（企画担当）>

[平成29年度実施予定の内容]

- ・企画担当、建築担当、評価担当、財政担当の庁内4部署が連携し、移住定住における「住まい」についての経済的支援制度を整備する。
- ・企画担当の助成制度（平成29年4月1日開始で検討中）
  - ①引っ越し補助金
  - ②住宅家賃補助金

H28予算額

—

H28決算見込額

—

### □移住定住出張窓口の設置

○首都圏などで開催される移住合同相談会へ参加するとともに、首都圏の移住支援施設（「移住・交流情報ガーデン」や「ふるさと暮らし情報センター」）を活用し、セミナー等への参加や相談窓口を設置する。

進捗状況			
[着手状況]		平成29年度より着手予定	<企画産業課（企画担当）>
-----			
[平成29年度実施予定の内容]			
・北海道や北海道移住促進協議会が共催する『北海道暮らしフェア』に出展し、首都圏在住者等に対して岩内町のアピールを行う。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

### □移住体験の実施

○岩内町の移住体験ツアーを実施する（町内の空き家やコテージを活用し、一定期間、町内での暮らしを体験してもらうことにより、岩内町の良さを知ってもらう）

進捗状況			
[着手状況]		平成30年度より着手予定	<企画産業課（企画担当）>
-----			
[平成30年度実施予定の内容]			
住居や受入協力者などの受入体制を整備し、移住体験「ちょっと暮らし」を実施する。			
ちょっと暮らしでは、食や遊びなど町の魅力だけではなく、就業体験、農業体験などのメニューも検討し、仕事の面からの移住のきっかけづくりを進める。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	転入者数	391人
	H31基準数値	転入者数	500人
	H28数値見込	—	

### <取得家屋に係る固定資産税の軽減>

○移住・定住を目的に、家屋を新築または売買等で取得した転入者に対し、家屋に係る固定資産税を軽減する。

進捗状況	
[着手状況]	平成29年度より着手予定 <税務課（評価担当）>
-----	
岩内町で新築住宅又は中古住宅を取得した者に対し、当該住宅に係る固定資産税を免除することで、本町への移住・定住の促進を図る。	
平成29年度以降の条例設定・事業実施に向けて、関係部署との連携及び内容について検討中。	

H28予算額	—	H28決算見込額	—
--------	---	----------	---

KPI	H26基準数値	転入新築数	3件
	H31基準数値	転入新築数	15件(H27～H31累計)
	H28数値見込	—	

<町の情報発信の充実>

□創意工夫したホームページ・広報紙による情報発信

- 何が今求められている情報かを的確に把握し、ホームページ・広報紙に掲載する。
- より見やすく、より探しやすくなるよう、ホームページの検索性を向上する。
- ホームページの双方向性を活かし、地域内外の受信者発信型で情報発信する。
- 高齢者等のため、広報紙とホームページの適切な役割分担をする。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況]		過年度より継続実施	<総務財政課（広報担当）>
<p>・ 求められている（提供したい）情報を把握し、より見やすくなるよう、ホームページや広報紙に掲載。</p> <p>・ 平成28年4月号の広報紙から、表面・裏面をカラー印刷とし、お子さんの作品等で学習した成果を紹介。</p>			
H28予算額	8,120千円	H28決算見込額	8,120千円

KPI	H26基準数値	ホームページの閲覧数	月10,000件
	H31基準数値	ホームページの閲覧数	月15,000件
	H28数値見込	—	

□“岩内”を知ってもらう

- 「町勢要覧」を道内外の図書館や道の駅等に配架する。
- 年に数回「岩内」の新聞広告を掲出する。
- 岩内にゆかりのある有名人(中居正広・ディーン・中島みゆき等)より「岩内」を宣伝する。
- 「全国広報コンクール(広報紙、ホームページ)」への参加や他町村のホームページからのリンク、他雑誌への投稿などを実施する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況]		着手時期未定	<総務財政課（広報担当）>
<p>具体的検討なし</p>			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

□UIJターン情報の掲載

○ニーズが高い「住居」「雇用」「教育」「福祉」「先輩UIJターン者の声」「相談窓口」等の情報をホームページのトップページにバナーとして貼付するなどして情報を発信する。

進捗状況			
[着手状況] 着手時期未定		＜総務財政課（広報担当）＞	
-----			
具体的検討なし			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

重点項目⑥：芸術や文化、スポーツといった生涯教育の推進を図る

- 芸術・文化にふれあう機会の充実
- スポーツ環境の充実
- 地域の特色を活かした学習機会の提供

＜文化センター自主文化事業＞

○後志管内最大規模のホールを有する文化センターを活用し、子どもから大人まで幅広い世代を対象とした公演等の企画・実施により、町民の芸術・文化鑑賞機会等の充実を図る。  
○あわせて、文化センターを中心とした広域的な交流を促進し、街なかの求心力と賑わいを高める。

進捗状況			
[着手状況] 平成27年度より着手		＜教育課（社会教育担当）＞	
-----			
* 栗コーダーカルテット&ハミングバードコンサートの開催			
[開催日]	平成28年7月30日		
[会場]	岩内地方文化センター		
[入場者数]	350名		
H28予算額	1,413千円	H28決算見込額	1,293千円

KPI	H26基準数値	文化センター入館者数	41,598人
	H31基準数値	文化センター入館者数	70,000人
	H28数値見込	—	

<地域に根ざした文化活動の推進>

- 文化センターをはじめ、木田金次郎美術館や郷土館などを活用した、サークル活動、ワークショップ、歴史講座などを開催する。
- 自主的活動で行われている文化・芸術団体の活動を支援し、町民の文化活動に参加する機会を充実させる。

進捗状況			
[着手状況]		過年度より継続実施	<教育課（社会教育担当）>
-----			
* 岩内町文化団体協議会への支援（補助金 220千円）			
* 岩内町郷土館の管理運営（4,479千円）			
* 岩内地方文化センターの管理運営（55,742千円）			
* 木田金次郎美術館の管理運営（22,408千円）			
H28予算額	82,849千円	H28決算見込額	82,849千円

KPI	H26基準数値	文化センターサークル開設数	22講座
		岩内町文化団体協議会加盟団体数	32団体
	H31基準数値	文化センターサークル開設数	25講座
		岩内町文化団体協議会加盟団体数	35団体
	H28数値見込	文化センターサークル開設数	22講座
		岩内町文化団体協議会加盟団体数	32団体

<トップアスリートとの交流によるスポーツ教室の開催>

- 道内のトップアスリートとの交流を行い、その一環として子どもたちのスポーツ環境の充実を図るため、スポーツ教室などの交流事業を展開する。

進捗状況			
[着手状況]		平成28年度より着手	<教育課（社会教育担当）>
-----			
* プロバスケットボールチームレバンガ北海道スポーツ教室の開催			
[開催日] 平成28年6月19日			
[会場] 岩内町民体育館			
[講師] 折茂武彦選手、松島良豪選手、清永貴彦コーチ			
[参加者数] 100名（町内の小・中・高校のバスケットボールチーム）			
H28予算額	750千円	H28決算見込額	750千円

KPI	H26基準数値	スポーツ教室開催数	年0回
	H31基準数値	スポーツ教室開催数	年1回
	H28数値見込	スポーツ教室開催数	年1回

<わいわいウィークエンド教室開催事業>

○地元小学生を対象に、地域の産業や自然を活かした体験活動として、「わいわいウィークエンド教室」を実施し、親子が共に楽しく学べる機会を提供する。

進捗状況			
[着手状況] 過年度より継続実施		<教育課（社会教育担当）>	
*わいわいウィークエンド教室の開催			
5月 魚釣り&料理教室			
6月 親子登山体験（岩内岳）			
9月 岩宇魅力発見バスツアー（工場見学、メロン収穫・牛の餌やり体験）			
10月 小学生玉入れ大会			
11月 文化センターバックヤードツアー			
12月 下の句カルタで遊ぼう			
H28予算額	25千円	H28決算見込額	25千円

KPI	H26基準数値	開催数 年8回、参加児童数 283人
	H31基準数値	開催数 年6回、参加児童数 300人
	H28数値見込	—

<町民大学講座開催事業>

○成人の学習機会の提供を図るため、生活や文化等をテーマとした各種講座を実施し、自己研鑽と交流を推進する。

進捗状況			
[着手状況] 過年度より継続実施		<教育課（社会教育担当）>	
*町民大学講座の開催			
4月 開講式、ストレッチ運動			
5月 講座「金融被害に遭わないための講座」			
6月 施設見学「壮瞥町 北の湖記念館ほか」			
7月 施設見学「共和町 共和ダム、発足農協、三田牧場」			
8月 講演&ライブ「辻村達生氏」			
9月 研修視察「札幌市 札幌ドーム、日糧製パン、白い恋人パーク」			
10月 調理実習			
11月 閉講式 合唱			
H28予算額	34千円	H28決算見込額	34千円

KPI	H26基準数値	開催数 年9回、参加者数 289人
	H31基準数値	開催数 年9回、参加者数 350人
	H28数値見込	開催数 年8回、参加者数 296人

## 基本目標3 子育て支援の充実

### 重点項目①:子育て支援の充実を図る

#### ●子育て世帯の負担軽減など子育て世帯への支援強化

##### <乳幼児等医療費助成事業の拡大>

○乳幼児等の医療費自己負担分を助成する本事業の対象年齢を拡大し、少子化・子育て対策を充実させる。

- ・現在の基準 : ・通院 就学前 ・入院 小学校6年生
- ・新しい基準 : ・通院 小学校6年生 ・入院 (据え置き)

#### 進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <保健福祉課(医療保険担当)>

乳幼児等医療費の自己負担額の一部助成について、平成28年8月診療分より、対象年齢を拡大し、「小学生の通院医療費」も助成対象とする。

[現在の基準]	[新しい基準]
通院 就学前	→ 小学校6年生
入院 小学校6年生	→ (据置)

H28予算額	16,784千円	H28決算見込額	12,903千円
--------	----------	----------	----------

KPI	H26基準数値	小学校児童数	580人
	H31基準数値	小学校児童数	550人
	H28数値見込	小学校児童数	542人

##### <子育て世帯応援カード発行事業>

○北海道が実施する「子育て支援パスポート事業(道事業名:どさんこ・子育て特典制度)」の特典制度の活用と町内商店街の協力によるたら丸ポイントカードの特典制度を併用しながら、子育て世帯の生活を支援する。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成29年度以降に着手予定 <保健福祉課(社会福祉担当)>

平成29年度以降の事業実施に向けて調整中。

H28予算額	-	H28決算見込額	-
--------	---	----------	---

<保育所における保育時間の延長>

○保育所の保育時間を朝・夕方ともに時間延長し、共働き世帯の時間的余裕の確保と送迎負担の軽減を図り、子育て世帯を支援する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成29年度より着手予定 <保健福祉課（社会福祉担当）>			
-----			
現在の保育時間（8：00～17：30）を30分延長（8：00～18：00）する規則改正を済ませており、平成29年度入所分から実施する予定。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

<多子世帯保育料軽減支援事業>

○保育料について、第2子目の軽減率（現状1/2）を見直し、多子世帯の経済的支援を実施する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成29年度以降に着手予定 <保健福祉課（社会福祉担当）>			
-----			
平成29年度以降の事業実施に向けて調整中。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

<チャイルドシート購入助成事業>

○満3歳未満の乳幼児等にチャイルドシートを購入する保護者に対し購入費の一部を助成し、子育て世帯の生活を支援する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成29年度以降に着手予定 <保健福祉課（社会福祉担当）>			
-----			
平成29年度以降の事業実施に向けて調整中。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

<おむつ等育児用品助成事業>

○満1歳までの児童に対し、おむつ等の育児関連用品の購入費の一部を助成し、子育て世帯の生活を支援する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成29年度以降に着手予定 <保健福祉課（社会福祉担当）>			
-----			
平成29年度以降の事業実施に向けて調整中。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	0歳～6歳人口 602人(全人口に占める割合:4.43%)
	H31基準数値	0歳～6歳人口 600人(全人口に占める割合:4.80%)
	H28数値見込	—

<妊婦健康診査通院交通費助成事業>

○妊婦健康診査を受診する妊婦に対し、医療機関または助産所までの通院交通費の一部を助成する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成27年度より着手 <span style="float: right;">&lt;保健福祉課(健康推進担当)&gt;</span>			
-----			
妊婦健康診査を受診する妊婦に対し、妊娠初期から出産に至るまでの間の医療機関または助産所までの通院交通費の一部を助成する。			
[助成額] 岩内町から医療機関所在地までの往復公共バス運賃に相当する額で、健康診査1回につき、1,420円、2,680円、3,500円の3区分で助成(上限3,500円)			
H28予算額	2,400千円	H28決算見込額	1,957千円

KPI	H26基準数値	妊婦届出数 74件
	H31基準数値	妊婦届出数 96件
	H28数値見込	—

<移住者、子育て世帯定住者、多世代同居・近居世帯に対する住宅取得助成等の支援>

○移住者や子育て世帯定住者若しくは、多世代同居・近居世帯(親世帯・子世帯どちらも対象)に対し、住宅建設を条件とする土地取得に対する助成制度を新設(1,000千円/件)する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成29年度より着手予定 <span style="float: right;">&lt;建設住宅課(建築担当)&gt;</span>			
-----			
平成29年度以降の事業着手に向け要綱の整備中。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	助成実績数 0件
	H31基準数値	助成実績数 8件(H27～H31累計)
	H28数値見込	助成実績数 0件

<移住者、子育て世帯定住者、多世代同居・近居世帯に対する中古住宅取得支援>

○移住者や子育て世帯定住者若しくは、多世代同居・近居世帯(親世帯・子世帯どちらも対象)に対し、中古住宅取得に対する助成制度を新設(2,000千円/件)する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成29年度より着手予定		<建設住宅課(建築担当)>	
-----			
平成29年度以降の事業着手に向け要綱の整備中。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	助成実績数	0件
	H31基準数値	助成実績数	8件(H27~H31累計)
	H28数値見込	助成実績数	0件

<リフォーム支援>

○移住者や子育て世帯定住者若しくは、多世代同居・近居世帯(親世帯・子世帯どちらも対象)のためのリフォームに対する助成制度を新設(200千円/件)する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成29年度より着手予定		<建設住宅課(建築担当)>	
-----			
平成29年度以降の事業着手に向け要綱の整備中。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	助成実績数	0件
	H31基準数値	助成実績数	20件(H27~H31累計)
	H28数値見込	助成実績数	0件

<家賃助成支援>

○移住者や子育て世帯定住者若しくは、多世代同居・近居世帯(子世帯・親世帯どちらも対象)が町外から移住してきた場合、時限的(2~3年間)に家賃に対する助成を実施(15千円/月)する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成29年度より着手予定		<建設住宅課(建築担当)>	
-----			
平成29年度に企画担当が制度化を予定する住宅家賃助成制度と統合。 制度化に当たっては建築担当と企画担当が連携して協議を進める。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	助成実績数	0戸
	H31基準数値	助成実績数	20戸(H27~H31累計)
	H28数値見込	助成実績数	0件

## 重点項目②: 健やかな子どもの成長を支える教育環境を整備する

### ●健やかな子どもを育てる教育環境の整備

#### <学習支援員等配置事業>

○学力の向上を図るため、学習支援員等を配置し、複数の教員による指導の実施により、きめ細やかな指導体制を構築する。

進捗状況			
[着手状況] 平成18年度より着手		<教育課（学校教育担当）>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従前から小中学校に配置していた特別支援教育支援員（通常学級及び特別支援学級で児童生徒の支援を実施する支援員）を小学校に集約し、学習支援教育支援員（小学校で必要とされる基礎学力の定着に努めるための支援員）として配置。</li> <li>・各小学校に複数名配置している学習支援教育支援員のうち、各校の支援員の中心的立場になる2名については、フルタイム雇用で対応。</li> </ul>			
H28予算額	9,561千円	H28決算見込額	9,143千円

#### <ICT教育の推進>

○ICT教材の整備を進め、教職員の指導能力の向上などを図り、ICT教育の充実に努め、学力の向上を目指す。

進捗状況			
[着手状況] 平成27年度より着手		<教育課（学校教育担当）>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の情報活用能力（インターネットや電子メールなどを利用し、ネットワーク上のルールやマナー、情報の必要性、危険性を習得）の向上を目的として、サーバーサポートが終了する情報教育用システム128台を更新。（小学校 44台、中学校 84台）</li> <li>・中学校においては、電子黒板機能付プロジェクターやタブレットPCの導入、無線LAN環境を新たに整備。</li> </ul>			
H28予算額	6,534千円	H28決算見込額	4,695千円

KPI	H26基準数値	—
	H31基準数値	全国学力・学習状況調査平均正答率 全道平均以上
	H28数値見込	—

### <教育支援教室設置事業>

○不登校の児童生徒に対し、学校生活に復帰を支援するため、様々な援助・指導を実施する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成28年度より着手		<教育課（学校教育担当）>	
不登校児童生徒の集団生活への適応や基礎学力の補充、生活習慣の改善等を支援し、不登校児童生徒の学校復帰を目的とした教育支援教室（つばさ教室）を地域交流センターに開設。			
H28予算額	886千円	H28決算見込額	227千円

KPI	H26基準数値	不登校児童生徒数 20人
	H31基準数値	不登校児童生徒数 10人
	H28数値見込	-

### <子ども絵本館運営事業>

○絵本に親しむことにより豊かな情操を育てるため、地域交流センター内に「子ども絵本館」を開館し、絵本の貸出を実施する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成12年度より着手		<教育課（社会教育担当）>	
* 子ども絵本館の運営 [開館日] 毎週 月、水、金、土曜日			
H28予算額	147千円	H28決算見込額	147千円

KPI	H26基準数値	入館者数 2,739人
	H31基準数値	入館者数 4,000人
	H28数値見込	-

### <ブックスタート推進事業>

○10ヵ月児健康相談に訪れる親子に絵本を手渡し、絵本の読み聞かせの指導と合わせて、絵本の効果を説明するとともに、年1回イベント「うきうき絵本フェスタ」を開催する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成17年度より着手		<教育課（社会教育担当）>	
* ブックスタート事業の実施 ～10ヵ月児健康相談に訪れる親子に絵本を手渡し、絵本の読み聞かせの指導を行う。			
* イベント「うきうき絵本フェスタ」の開催 [開催日] 平成28年10月22日 [会場] 岩内地方文化センター			

〔内 容〕 人形劇公演、絵本アルバムの配布、工作コーナーなど			
H28予算額	312千円	H28決算見込額	312千円

KPI	H26基準数値	イベント参加者数	0人
	H31基準数値	イベント参加者数	300人
	H28数値見込	イベント参加者数	215人

### 重点項目③:結婚支援による安心して家庭を持てる地域環境づくりを図る

#### ●結婚支援などによる結婚数の増加

- 町内等の団体が実施する婚活支援事業(婚活イベント等)に対して財政的支援を実施する。
- 町内等の団体が実施する婚活イベントの広報周知の支援する(町のホームページに掲載等)。

<b>進捗状況</b>			
〔着手状況〕 平成27年度より着手		<企画産業課(企画担当)>	
-----			
* 婚活支援事業への財政的支援 ~平成26年度から岩内青年会議所が開催している婚活パーティーに対し、町の補助金「まちづくり活動支援補助金」を交付することにより、財政面での開催支援をする。 《平成27年度の開催実績》 〔開催日〕 平成28年3月12日 〔参加者〕 男性20名(岩内在住) 女性20名(岩内在住7名、町外13名) 〔カップル成立〕 7組 《平成28年度開催予定》 〔開催日〕 平成29年3月頃を予定 ※まちづくり活動支援補助金は、同内容の事業に対して2年間の交付が限度となっているため、今後は別な形での財政的支援を検討する			
* 婚活イベントの広報周知支援 ~岩内青年会議所が開催する婚活パーティーの情報を町HPにより広く発信することにより、広報周知での集客支援を行う。			
H28予算額	200千円	H28決算見込額	200千円

KPI	H26基準数値	結婚数	49組
	H31基準数値	結婚数	60組
	H28数値見込		—

## 基本目標4 安全・安心な暮らしを守る

### 重点項目①:住民が安心して生活できる環境の充実を図る

#### ●安心できる暮らしの確保

#### <防犯街路灯(LED化)対策事業>

○LED防犯街路灯を設置又はLED防犯街路灯に改良する団体等に、設置費の一部を補助し、LED化を推進する。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手 <住民課>

- ・LED防犯街路灯を設置又は改良する団体に対し、費用の4分の3を35千円上限として補助。

[補助実績] 130灯分(12月末時点)  
170灯分(今年度末見込)

H28予算額	5,600千円	H28決算見込額	5,600千円
--------	---------	----------	---------

KPI	H26基準数値	各団体が管理する防犯街路灯のLED灯が占める率 6.8%(127灯)
	H31基準数値	各団体が管理する防犯街路灯のLED灯が占める率 50.0%(約920灯)
	H28数値見込	各団体が管理する防犯街路灯のLED灯が占める率 30.0%(535灯)

#### <紙リサイクル化事業>

○資源物収集の品目に「紙」を追加し、より一層のゴミの資源化を進め、循環型社会を確立する。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成31年度より着手予定 <住民課>

実施検討中

～リサイクル実施の意義や効果を検証し、課題等を整理したうえで、より効果的な実施方法を検討中。

H28予算額	—	H28決算見込額	—
--------	---	----------	---

KPI	H26基準数値	その紙製容器包装の収集量 0トン
	H31基準数値	その紙製容器包装の収集量 約80トン
	H28数値見込	—

<ふれあいゴミ収集事業(高齢者等個別収集)>

- 高齢、病気、障がいなどの理由により、ごみ出し困難な世帯について個別に玄関先でゴミ、資源物を収集するとともに声かけを実施する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成31年度より着手予定		<住民課>	
-----			
実施検討中 ～来年度以降、他市町村の導入事例など資料収集し、具体的な検討を予定。			
H28予算額	-	H28決算見込額	-

KPI	H26基準数値	収集件数	0件
	H31基準数値	収集件数	100件
	H28数値見込		-

●防災に関する取り組みの強化

<住民を守る防災情報の提供>

- 様々な災害に備えるため、地域防災計画、原子力防災計画、防災マップ、原子力防災のしおりなどを常時見直しする。
- 防災に関する情報を、広報紙・ホームページをはじめ、様々な媒体を通して広く住民に周知する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 過年度より継続実施		<総務財政課(防災担当)>	
-----			
* 地域防災計画の改訂(平成28年4月) * 原子力防災計画の改訂(平成28年8月) * 「原子力防災のしおり」の作成、全戸配布 * 広報紙、ホームページ、防災行政無線での防災情報の発信 ～改訂した地域防災計画や原子力防災計画についてもホームページに掲載			
H28予算額	2,045千円	H28決算見込額	1,266千円

KPI	H26基準数値	防災に関する広報紙・ホームページ等掲載回数	11回
	H31基準数値	防災に関する広報紙・ホームページ等掲載回数	17回
	H28数値見込		-

<緊急避難所機能強化事業>

- 災害時に住民が少しでも安心して避難所で過ごせるよう、避難所に必要な最低限の電気を確保するため、非常用発電機(固定設置又は可搬型)を整備する。
- 食料・水・防災備蓄品は、最低限必要な数量を確保するが、民間業者等との災害時支援協定をより拡充して、必要な物資が迅速に手に入る体制を構築する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成17年度より着手		<総務財政課(防災担当)>	
-----			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料・保存水・防災備蓄品を計画的に購入。</li> <li>・福祉避難所の誘導標識(8箇所)を新設・更新。</li> </ul>			
H28予算額	828千円	H28決算見込額	828千円

KPI	H26基準数値	非常用発電機のある避難所数	1箇所
		災害時支援協定数(道経由を含む)	35協定
	H31基準数値	非常用発電機のある避難所数	4箇所
		災害時支援協定数(道経由を含む)	40協定
	H28数値見込	-	

<自主防災組織・人材育成事業>

- 地域住民の防災意識を高めるため、防災講習会や住民参加の防災訓練など実施し、自主防災組織の設立・育成を図るとともに地域の防災リーダーとなるべき人材を発掘・育成する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況] 平成28年度より着手		<総務財政課(防災担当)>	
-----			
地域住民の防災意識を高めるため、住民参加の地震・津波防災訓練を実施。 [実施日] 平成28年9月3日 [参加者] 11町内会・自治会 75名			
H28予算額	0千円	H28決算見込額	0千円

KPI	H26基準数値	自主防災組織数	0団体
	H31基準数値	自主防災組織数	20団体
	H28数値見込	-	

<防災に関する豆知識PR事業>

- 防災に関する知識をよりわかりやすく町民に伝えるため、広報紙や防災行政無線を活用し、【防災に関する豆知識！】といった親しみやすい形で情報を発信する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況]		平成29年度より着手予定	<総務財政課（防災担当）>
-----			
[平成29年度実施予定の内容]			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙での掲載に向け、掲載内容を検討する。</li> <li>・広報紙や防災行政無線以外の広報媒体も併せて検討する。</li> </ul>			
H28予算額	-	H28決算見込額	-

KPI	H26基準数値	情報発信回数	0回
	H31基準数値	情報発信回数	6回
	H28数値見込	-	

<地域住民による身近な防犯対策>

- 犯罪のない安心して暮らせるまちにするためには、近所でお互いに気軽に声をかけあう防犯活動が効果的なため、防犯意識を高めるための広報・啓発活動（身近な声かけ運動など）を実施する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況]		過年度より継続実施	<総務財政課（防災担当）>
-----			
犯罪が多発している時期に防災行政無線により住民啓発を実施。			
H28予算額	0千円	H28決算見込額	0千円

KPI	H26基準数値	犯罪発生件数	85件
	H31基準数値	犯罪発生件数	65件
	H28数値見込	-	

**重点項目②：健康寿命の延伸を図る**

●医療体制の確保や健康増進に向けた取り組み強化

<生活習慣病の重症化予防の徹底>

- 国保特定健診の受診率を向上させるため、個別訪問による受診勧奨や、医療機関からの医療情報の提供依頼を受ける体制を検討する。
- 受診者が増えることにより、保健指導を徹底し、生活習慣病の重症化を予防する。

進捗状況			
[着手状況] 平成29年度より着手予定 <保健福祉課（健康推進担当）>			
-----			
国保特定健診の受診率を向上させるため、医療機関からの医療情報の提供依頼を受ける体制を検討中。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	国保特定健診受診率	22.9%
	H31基準数値	国保特定健診受診率	60.0%
	H28数値見込	—	

#### <がん検診の受診率の向上>

- 全死亡の3割を占めるがんの早期発見のため、年齢重点の個別案内や講演会などを行い、胃・大腸・肺・子宮・乳がん検診の受診率を向上する。

進捗状況			
[着手状況] 平成28年度より着手 <保健福祉課（健康推進担当）>			
-----			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの予防や検診方法等について掲載したパンフレットを作成し、がん検診対象者世帯に送付。</li> <li>・北海道対がん協会職員を講師に招き、がん予防講演会を開催。</li> </ul>			
[開催日] 平成28年4月26日			
[参加者数] 23名			
H28予算額	336千円	H28決算見込額	274千円

KPI	H26基準数値	胃がん検診受診率13.8%、大腸がん検診16.8% 肺がん検診15.1%、子宮がん19.3% 乳がん20.3%
	H31基準数値	胃がん検診受診率40.0%、大腸がん検診40.0% 肺がん検診40.0%、子宮がん50.0% 乳がん50.0%
	H28数値見込	—

<地域の医療体制の維持・確保>

○地域の中核病院における医師不足が深刻化しているため、北海道や地元医師会、町民有志の会等との連携及び情報共有を図りながら、近隣町村と一体となり、医療体制の維持・確保に向けた支援に努める。

進捗状況							
[着手状況] 昭和48年度より着手 <保健福祉課（医療保険・介護保険担当）>							
地域の救急医療と小児医療の診療体制を維持するため、岩宇4ヶ町村が一体となり、必要な経費の一部を財政支援。							
[岩内町支援総額] 35,000千円							
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>救急医療分</td> <td>24,500千円</td> </tr> <tr> <td>小児医療分</td> <td>10,500千円</td> </tr> </table>				救急医療分	24,500千円	小児医療分	10,500千円
救急医療分	24,500千円						
小児医療分	10,500千円						
H28予算額	35,000千円	H28決算見込額	35,000千円				

<在宅高齢者用紙おむつ購入費助成事業>

○要介護の認定を受け、紙おむつを使用している在宅高齢者に購入費の一部を助成し、経済的負担軽減を図る。

進捗状況			
[着手状況] 平成28年度より着手 <保健福祉課（医療保険・介護保険担当）>			
要介護の認定を受け紙おむつを使用している在宅高齢者に購入費の一部を助成し、経済的負担軽減を図る。			
～年3回の4ヶ月毎（4～7月、8月～11月、12月～3月）に10,000円を上限として、購入金額の9割を助成。（年度内最大30千円助成）			
H28予算額	1,350千円	H28決算見込額	536千円

KPI	H26基準数値	介護サービス受給者全体に占める居宅介護（介護予防）サービス受給者数の割合（年報の比較） 60%
	H31基準数値	介護サービス受給者全体に占める居宅介護（介護予防）サービス受給者数の割合（年報の比較） 65%
	H28数値見込	—

### 重点項目③: 町民が安心して暮らせる交通網を形成する

#### ●既存公共施設ストックや交通網などの利活用、再構築

- 平成27年度中に策定する地域公共交通網形成計画に基づき、地域内の公共交通網を充実させる。
- 町内外を結ぶ既存バス路線との接続やそれら路線の将来的な運行方針も含めた一体的な検討を実施する。
- 北海道新幹線の開通や北海道横断自動車道の共和町延伸など、今後の交通網の充実要素も考慮する。

#### 進捗状況

[着手状況] 平成26年度より着手 ＜企画産業課（企画担当）＞

##### ○地域内公共交通網の充実

平成27年度末に策定した岩内町地域公共交通網形成計画に基づき、地域内の公共交通網を充実させる。

- ・ いわない循環バスの愛称募集
- ・ いわない循環バス「ノッタライン」の運行  
～平成28年10月1日より運行開始。  
ニセコバス(株)と町で運行協定を締結し、ニセコバス(株)が運行。  
町は、ニセコバス(株)に対し、運行に係る赤字補填を行う。
- ・ 商店街との連携  
～ノッタライン運賃のたら丸ポイントカード提携
- ・ 岩内町地域公共交通活性化協議会の開催

H28予算額

11,358千円

H28決算見込額

11,317千円

[着手状況] 平成28年度より着手ほか ＜企画産業課（企画担当）＞

##### ○既存路線バスの運行方針も含めた検討

- ・ 平成28年10月にいわない循環バスが運行開始し、町内の公共交通網の充実が一步前進したことから、既存の町内路線である岩内円山線の今後の方向性について、中央バス(株)と協議を進めていく。
- ・ 町が沿線町村と連携して運行支援を行っている神恵内線や雷電線について、後志地域生活交通確保対策協議会の各分科会の場で各沿線町村と連携を図りながら、路線の方向性について協議を進める。(過年度より継続実施)

H28予算額

0千円

H28決算見込額

0千円

## 重点項目④: 空き家・空き地の利活用を促進する

### ● 空き家・空き地の利活用促進

#### < 空き家等対策計画の策定 >

- 「空き家等対策計画」を策定して危険な空き家の撤去や空き家等の利活用の促進を図るなど、空き家等の総合的・計画的な対策等を推進する。
- 適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観など地域住民の生活環境に深刻な影響を与えないよう、その生活環境の保全を図る。

進捗状況			
[着手状況]		平成28年度より着手	< 建設住宅課（建築担当） >
-----			
空き家等対策計画を今年度中の策定に向け作業中。			
《計画概要（予定）》			
[計画期間]		平成29年度～平成33年度	
[対象地区]		町内全域	
[施策内容（予定）]			
① 空き家の発生の抑制			
② 空き家の適正管理の促進			
③ 空き家の利活用の促進			
④ 管理不全な空き家への対応			
⑤ 特定空き家の解消			
H28予算額	2,754千円	H28決算見込額	2,592千円

KPI	H26基準数値	計画なし	進捗率0%
	H31基準数値	計画策定	進捗率100%
	H28数値見込	計画策定	進捗率100%

#### < 除却支援事業 >

- 居住環境や地域活性化を阻害している老朽化した空き家等（特定空家等）の除却支援制度を新設し、活用可能な土地として再生（500千円/件）する。

進捗状況			
[着手状況]		平成29年度より着手予定	< 建設住宅課（建築担当） >
-----			
平成29年度以降の事業着手に向け要綱の整備中。			
H28予算額	—	H28決算見込額	—

KPI	H26基準数値	除却実績数	0件
	H31基準数値	除却実績数	20件（H27～H31累計）
	H28数値見込	除却実績数	0件

<町営住宅用途廃止団地の除却>

○住宅用地の確保策として、町営住宅の用途廃止団地の早期除却を進め跡地を低価格にて分譲する。

<b>進捗状況</b>			
[着手状況]		平成29年度より着手予定	<建設住宅課（建築担当）>
-----			
今年度見直し作業中の住生活基本計画において位置付けを予定。			
H28予算額	-	H28決算見込額	-

KPI	H26基準数値	分譲実績数	0戸
	H31基準数値	分譲実績数	10戸
	H28数値見込	分譲実績数	0戸